

君と夜の 戦いを

本編

34P

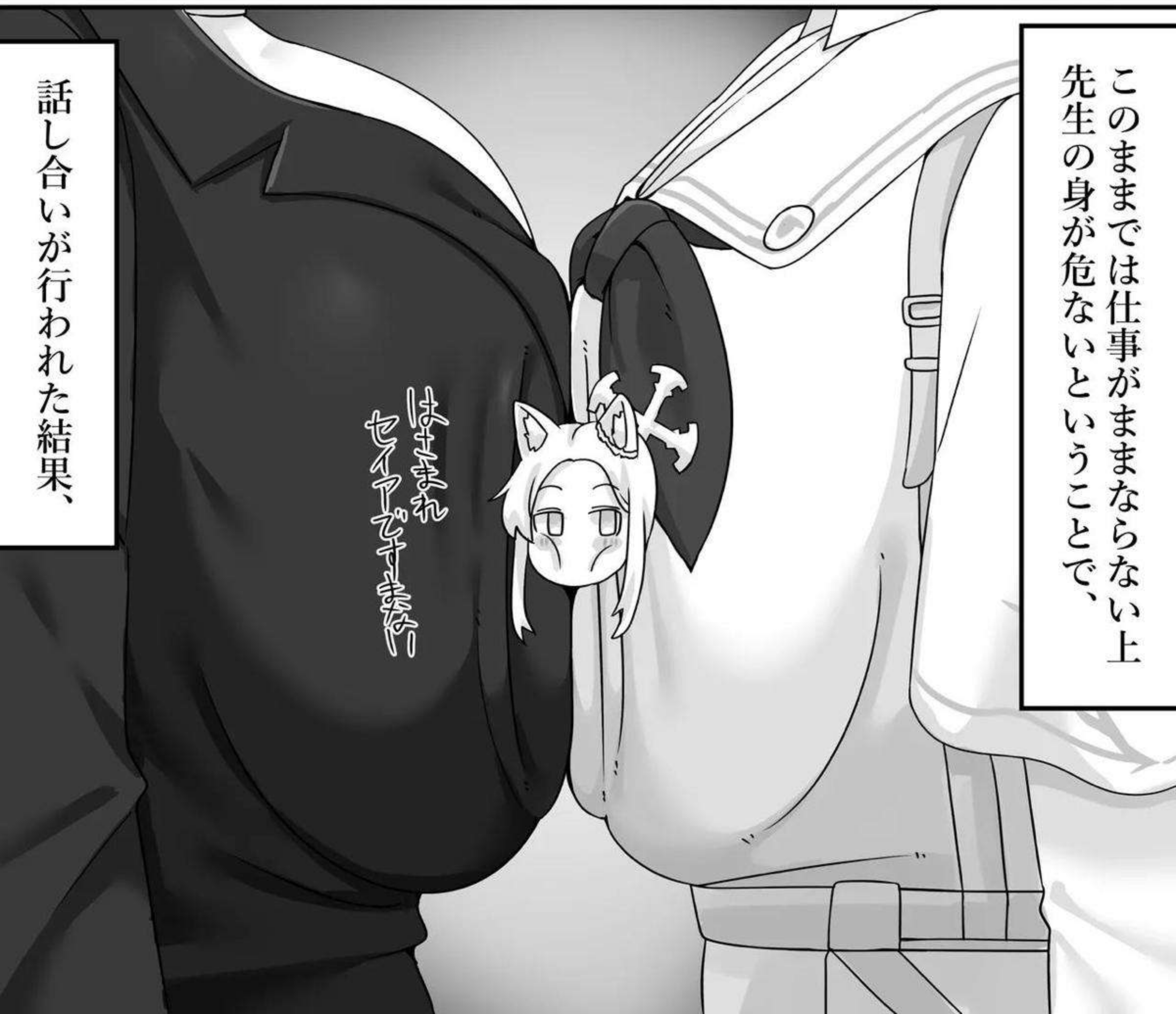
お姫様に、力も性にも負けて堕ちる



最近、シャールレでは先生が直接狙われることが増えてきた。



このままでは仕事がままならない上先生の身が危ないということで、



話し合いが行われた結果、

先生がいつ襲撃されても大丈夫なように先生自身に身を守る術に身に着けてもらおうということになった。バトルファックである。

ナ、ナギちゃん!?

わ、私!?

それは先生と合法的にえっちできるっていうんだったら、やらない手はないんだけどさ……

まだ心の準備ができてないっていうか、ちよつと先生に私のえっちなところ見せるのが恥ずかしいっていうか……

結局することにした

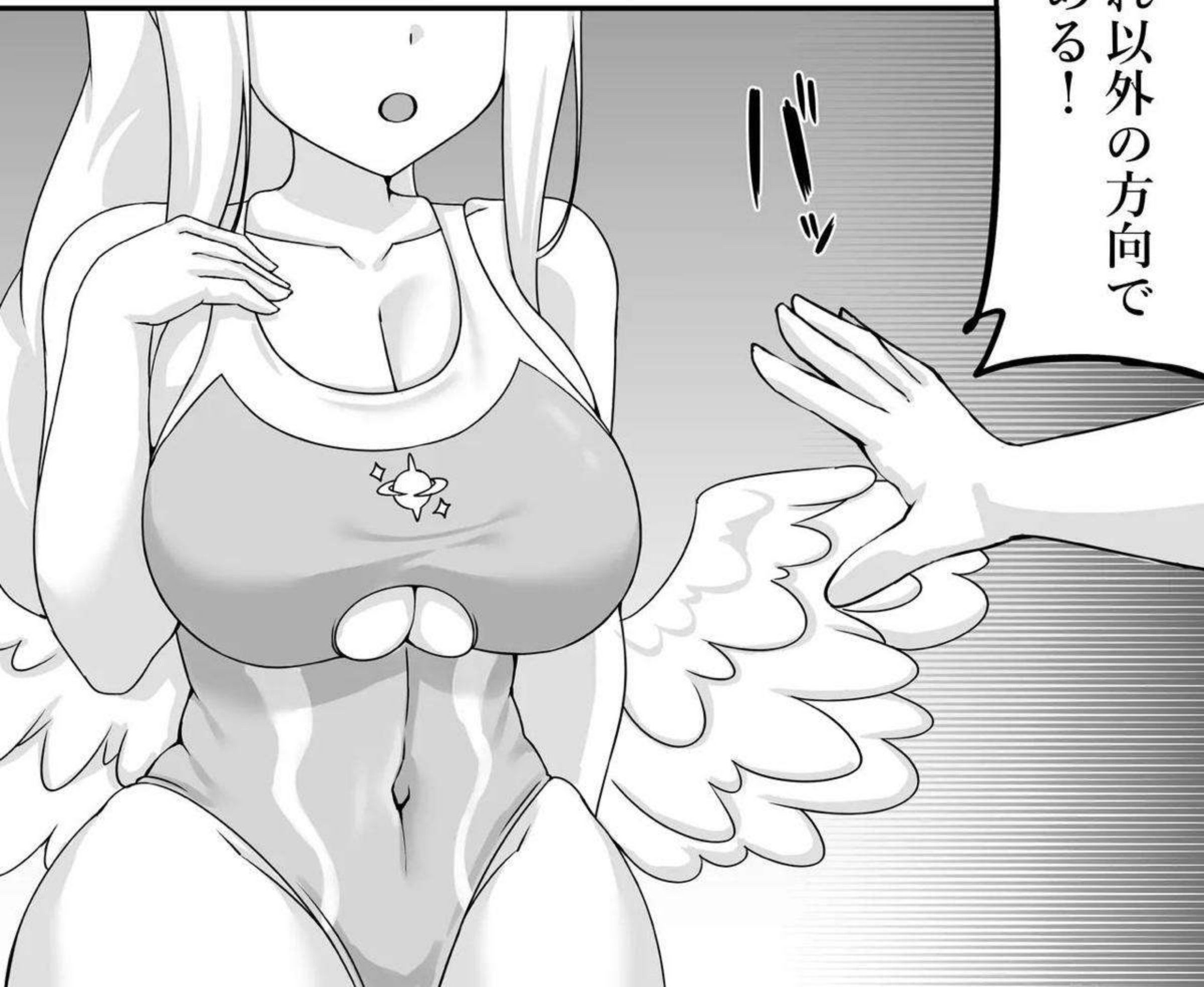
合宿所・リング

準備はいい？
それじゃ先生、
始めよつか☆

うん。

バトルファック訓練は、
合宿所のリングで行われる
ことになった。







わあお...

わっ!!

ミカはこっちの方には
疎いはずっ!!





ほら、もっと揉んでいいよ先生☆
ど、どうかな私のおっぱい、気持ちいい？

う、うん…
やわらかくて、気持ちいい…

す、すごいやわらかッ!!
おっぱいの方から手に
吸いついてくるような…!!
ずっと触っていたいような…!!

ツツ!!ありがとつ、先生☆
それはそうと先生？





なにッこれッ!?
やわらかッ!? 吸いついてくるッ!?
それに、これッ、ミカの匂いがッ!?



あれ? これって...もしかして先生、
おつきくなっちゃった?



かわい...♡

。。



まだ始まったばかりなのに、

こんな調子じゃ、
私勝っちゃうよ？

このままじつくりやってもいいんだけど：
それじゃあ意味ないから本気でやっちゃうね☆

先生っ☆覚悟はいい？

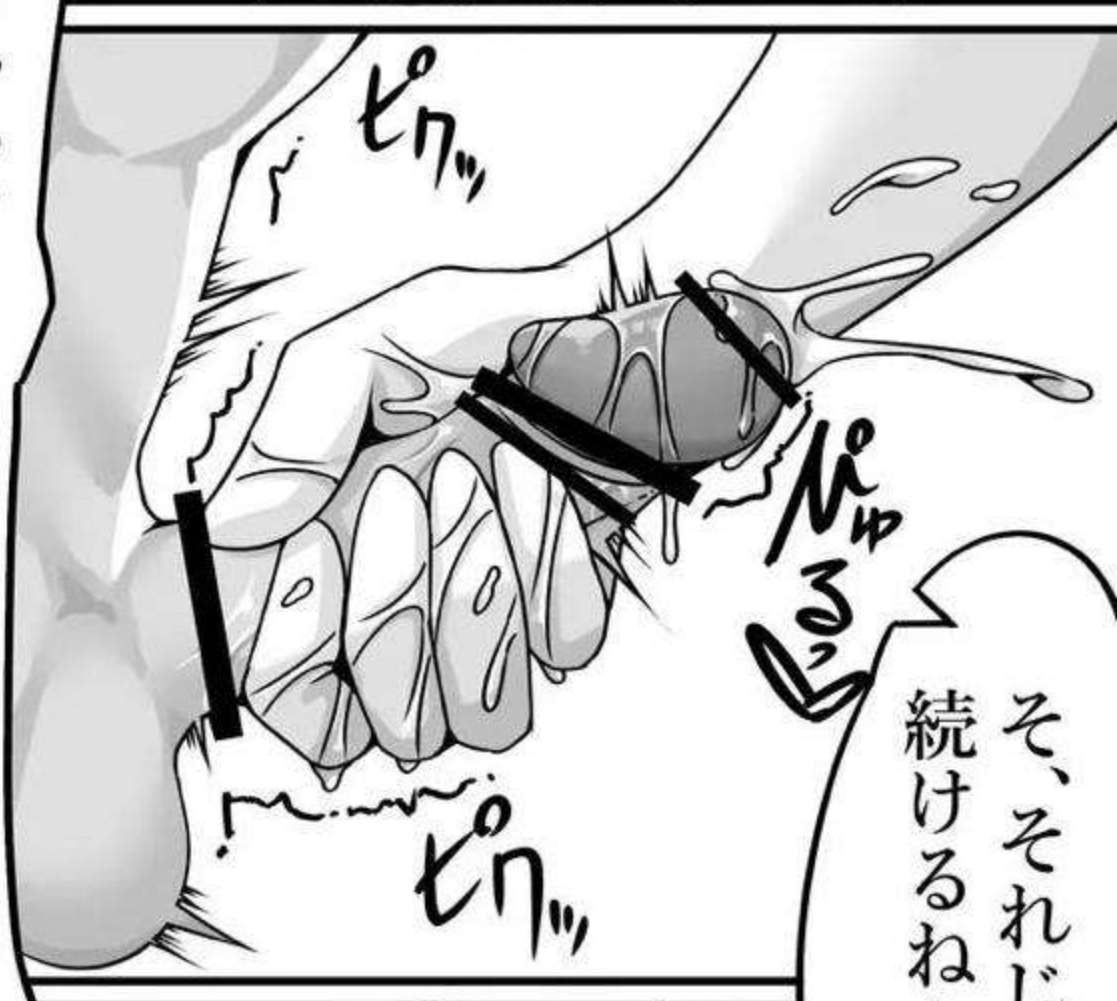
ふう...☆



えっえっ!!
もうでちやったのっ!!
(か、かわいいいっ♡)



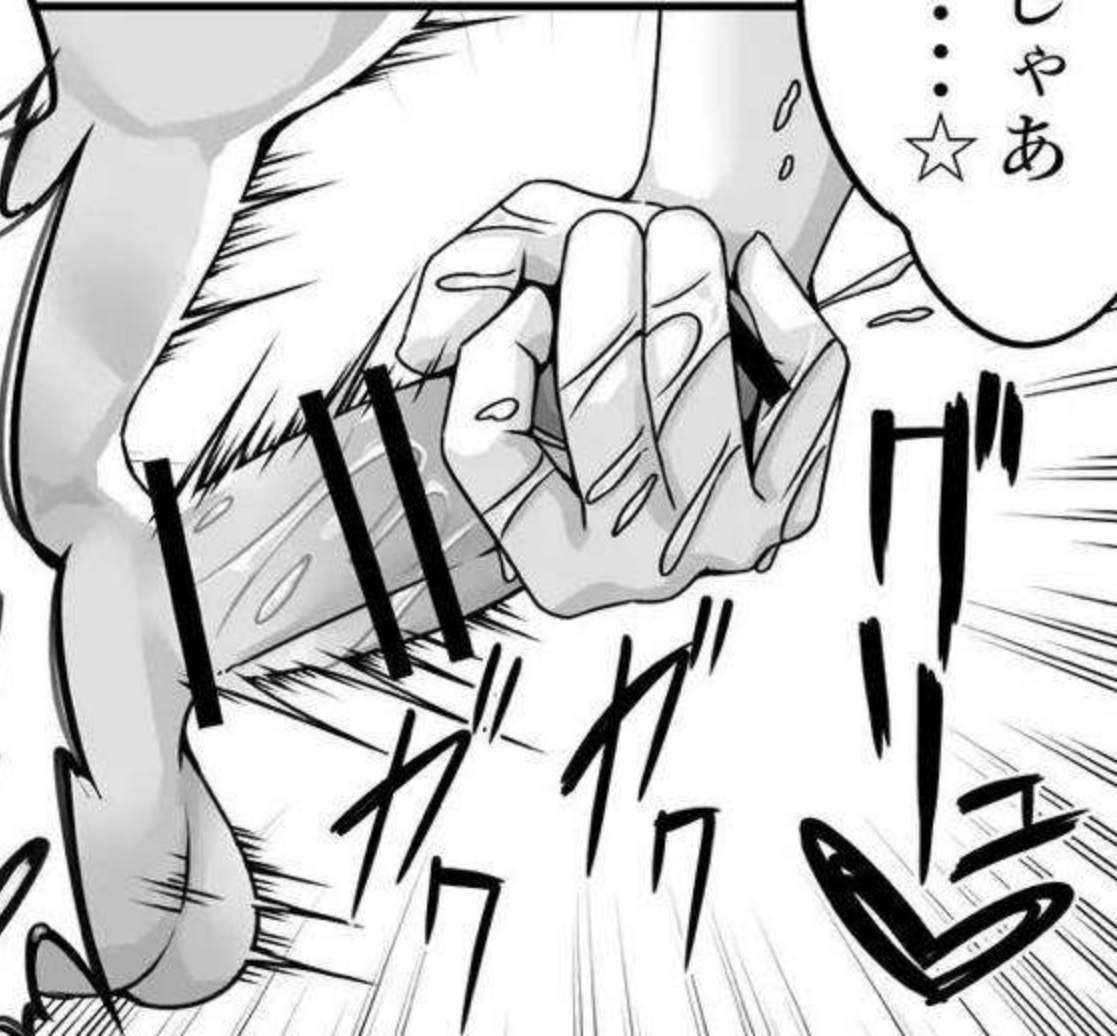
ミカの匂いで勃ちちゃって...
握られただけですぐに...
出しちゃった...



そ、それじゃあ
続けるね...☆



ま、まずはこの状態を
脱出しないと...



あがッあがッ
んむッんむッ

えっと・・・おちんちんの
先っぽを手のひらで
磨くように・・・

あははっ☆先生、
さっきからびくびく
しっぱなし♡

んむぐうツ、ミカアツとめてツ
つらいからツイった後の
ちんちんつらいからツ

んんおおおおおッ
うあッいあああッ

くびれの部分を指のわっかで
締め付けるように・・・

おちんちんの先から
お汁いっぱい漏れてるよう？

もうやめてツ!!
カリ首いじめるのダメツ!!
おかしくなるうツ!!

(やばいやばいまたツ!!
あああああッ)

先生すっごくびくびくしてて
とっても気持ちよさそう♡
たくさん勉強してきてて、
良かった…

たくさんでてる…
情けない格好で…♡
かわいい…♡



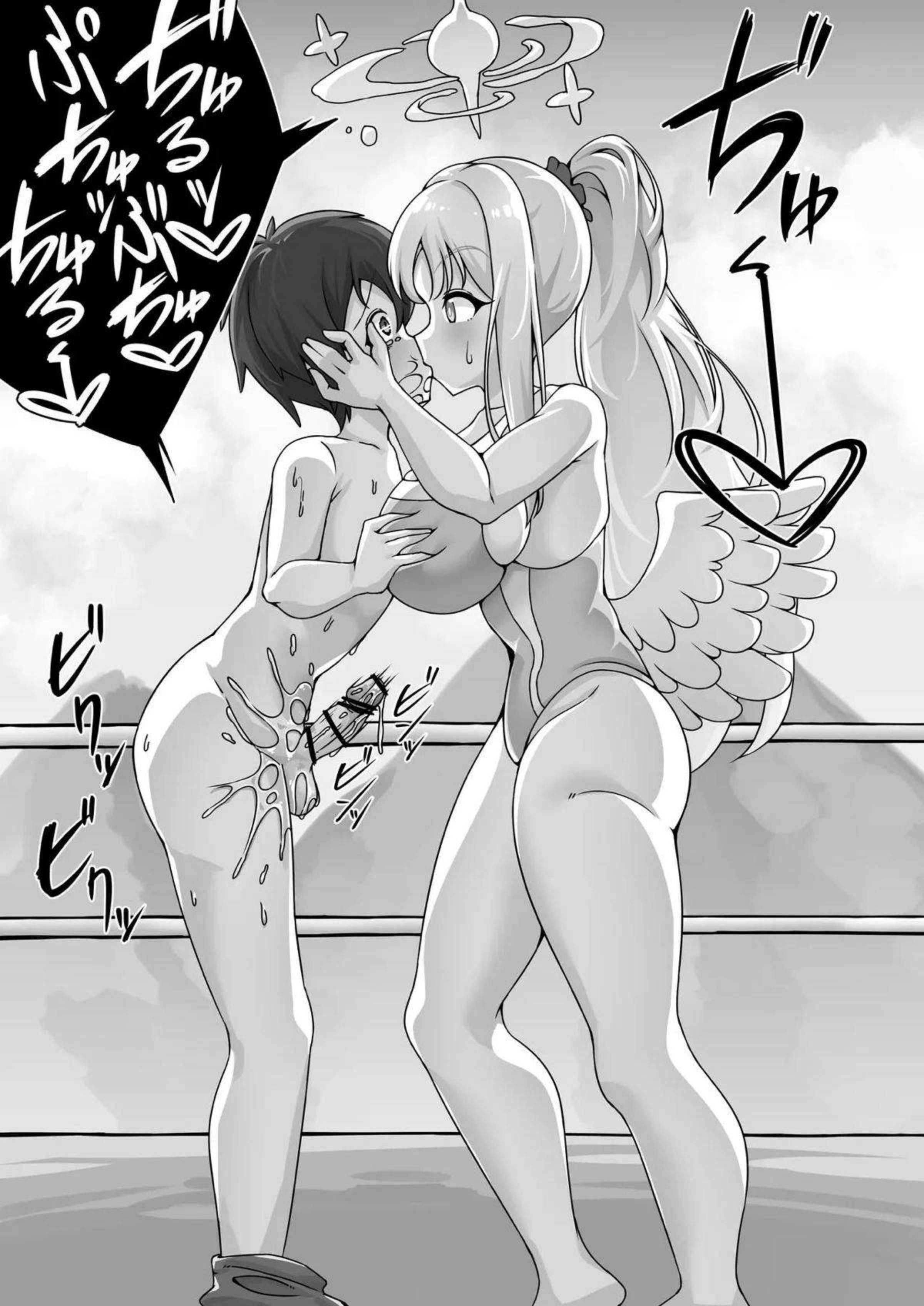
ミカに……いいようにされて……
そのまま2回も射精しちゃった……
このままだと絶対負けちゃう……

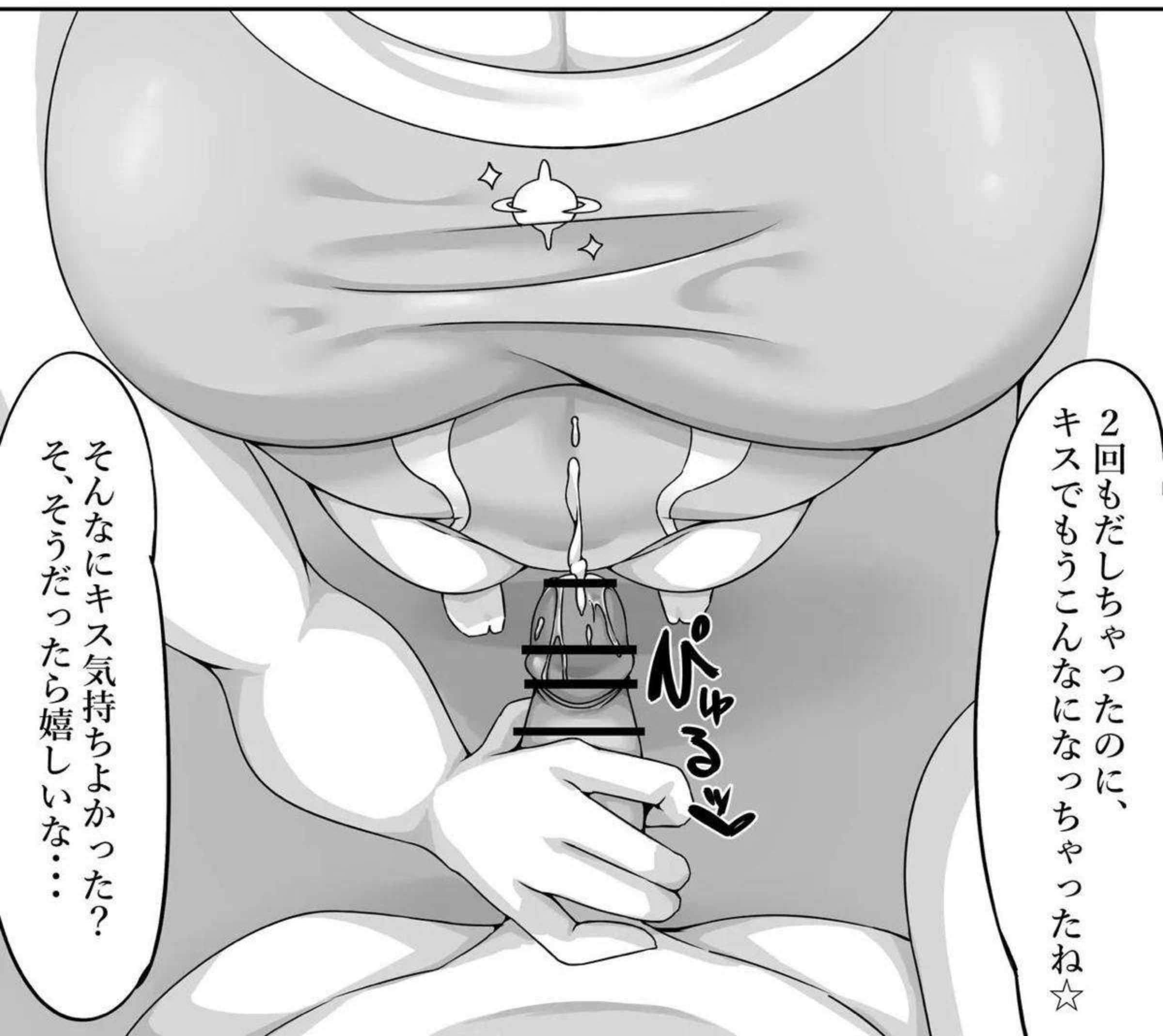
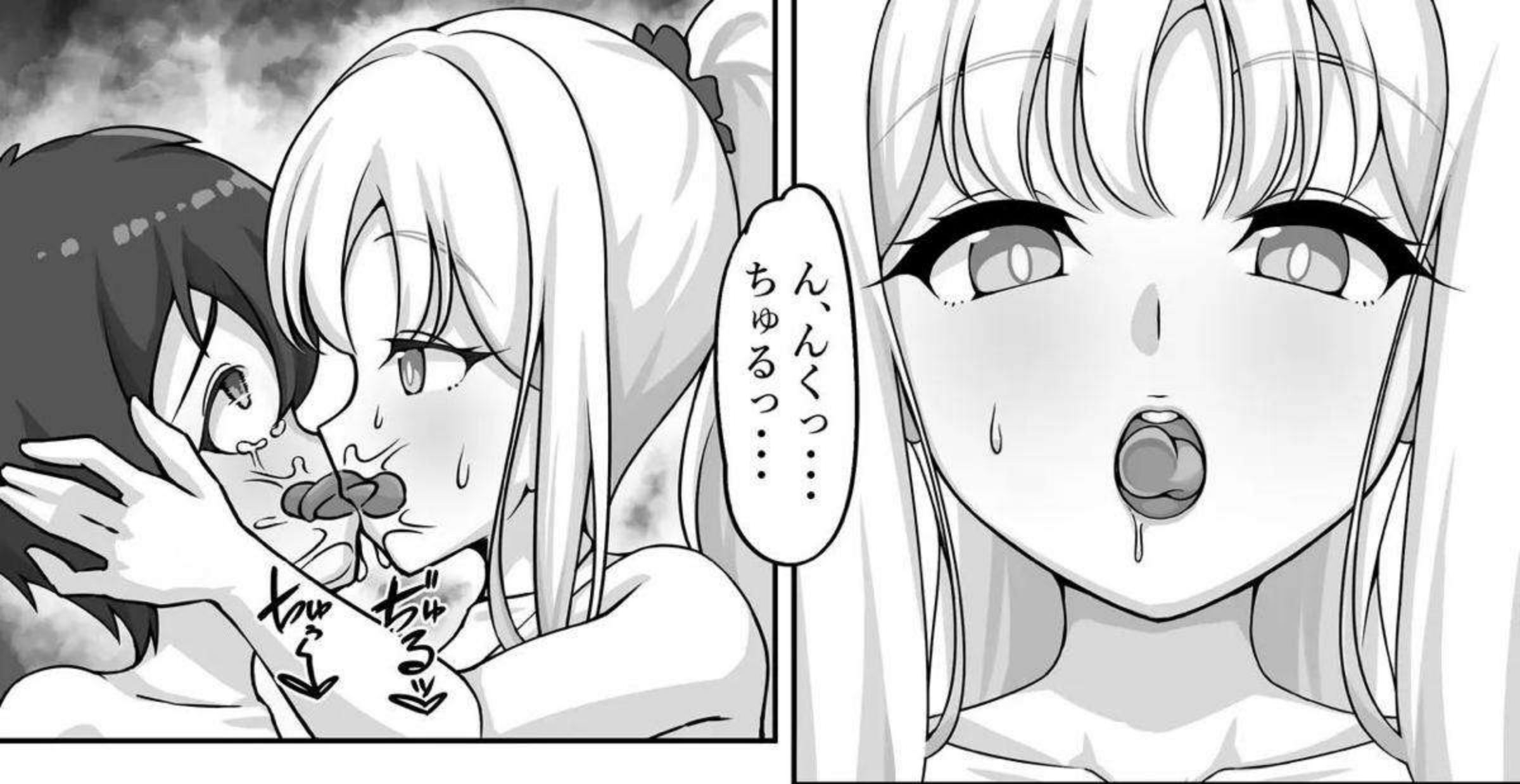
まずはどうにかミカから離れて……
何か、何か考えなきゃ……

先生……
私の初めて、貰って

へっ？







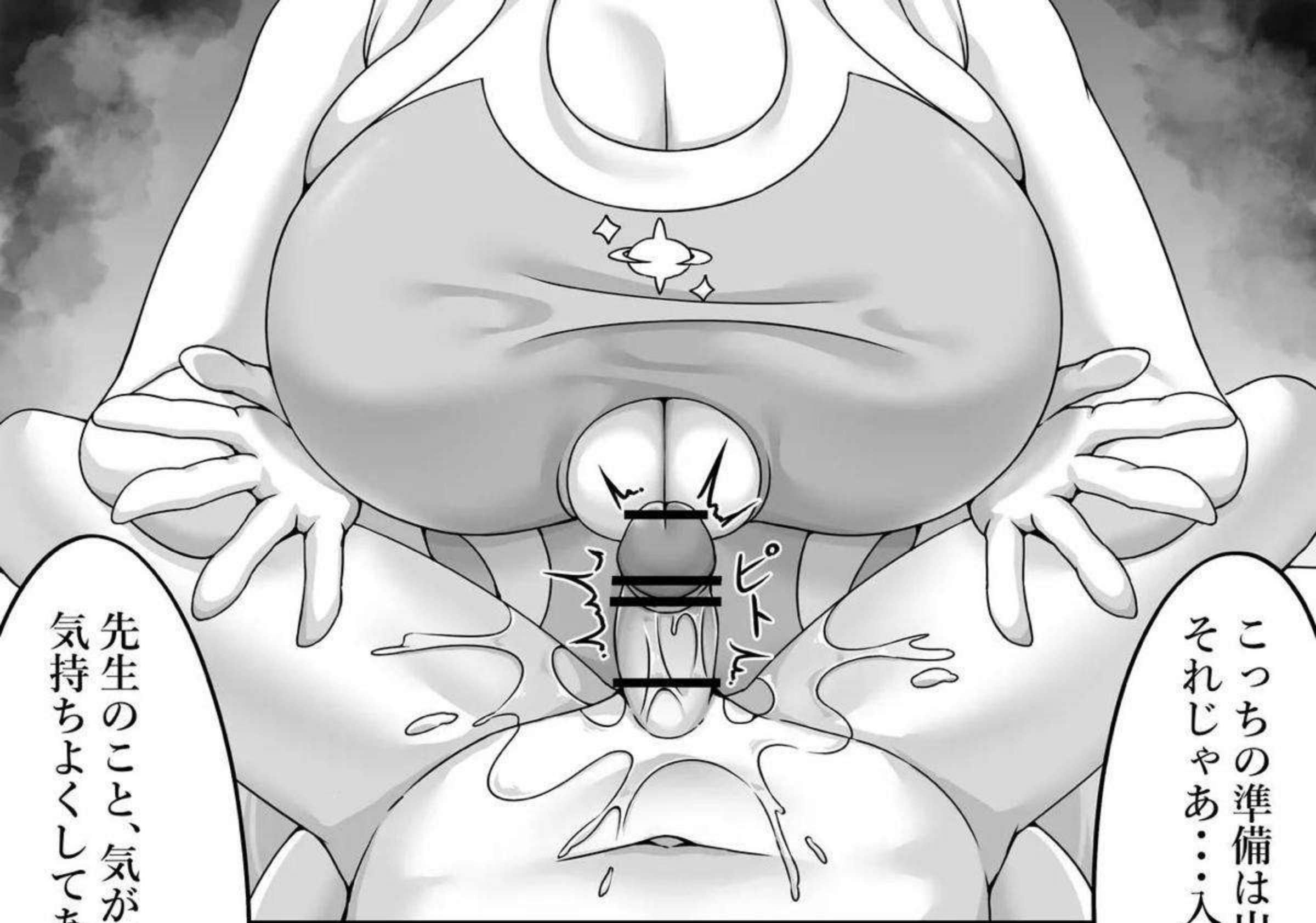


それじゃ、私が頑張って
練習してきた必殺技：：
今から先生にするから、

いっぱい気持ちよく
してあげる☆







こっちの準備は出来たから、
それじゃあ……入れちゃうね☆

先生のこと、気が狂っちゃうくらい
気持ちよくしてあげるから☆











ま
あ
い
ん
あ
い
ん
あ
い
ん

うわっ見て!!先生!!

あ...
ううっ♡

ゾゾ

ぽた

こんなに出了よ!!まだ中にも残ってる...

あはっ☆すっごい☆
押したらもっと出てくる!!

グッ

...

あんないっぱいだったもんね☆

グッ



それじゃつ、
こんなにいっぱい出してくれた
お礼、してあげるね☆

へッ
へッ
へあッ

へ……?……っ!?



こっちの初めても
先生にあげる。

スッ

「ちゃあ」



生徒がそんなことしちやツ!!
ほんとにダメだから、

ま、待ってミカ!!ダメツ!!
それだけはダメだからツ!!

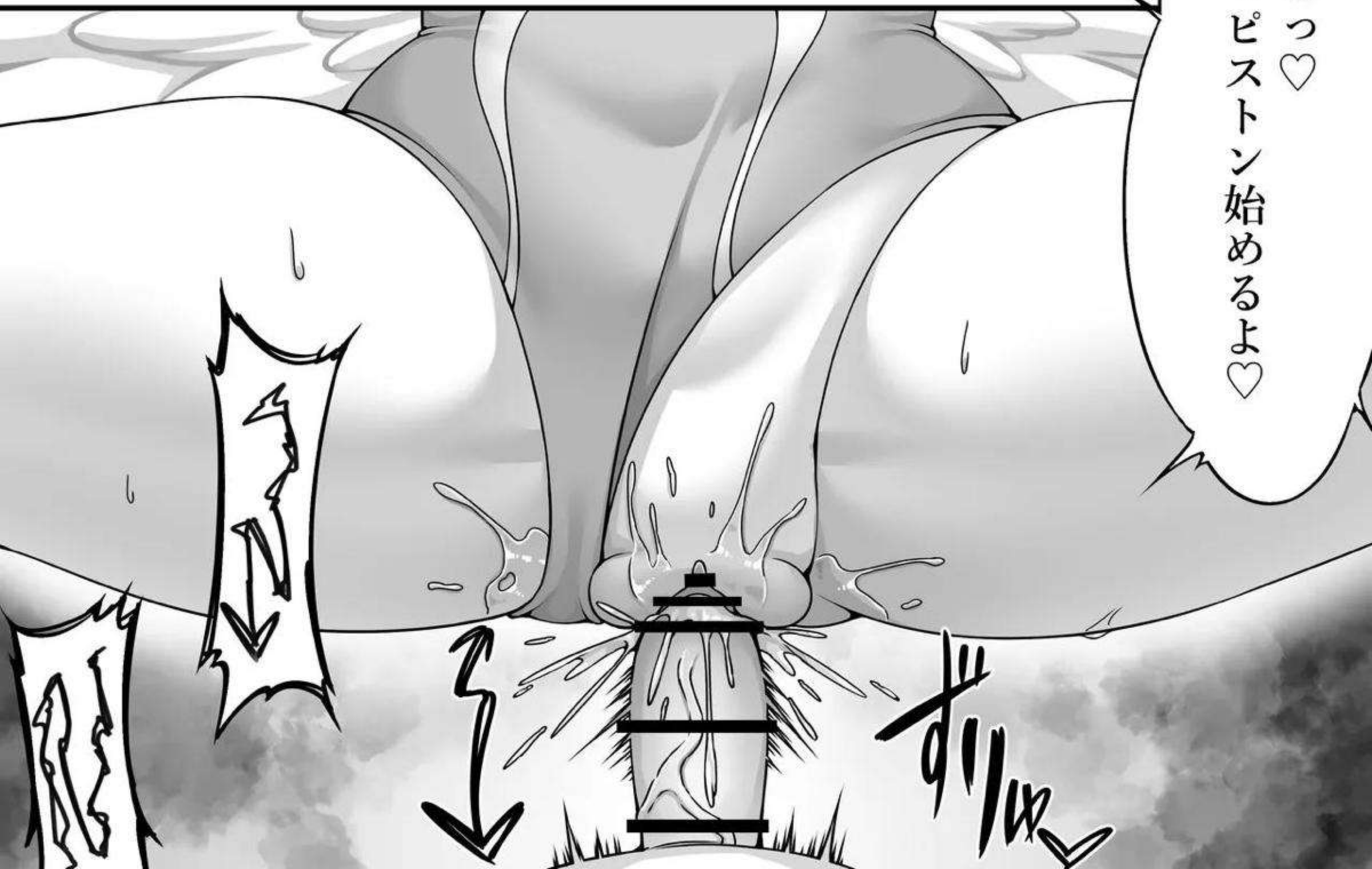
んんんあぁっ♡はぁっ♡
入っ、たぁ♡





どう？先生♡私の膣内♡
き、気持ちいいかな...？

んあっ♡
んっピストン始めるよ♡





あはっ♡
ねじるともいってくる♡

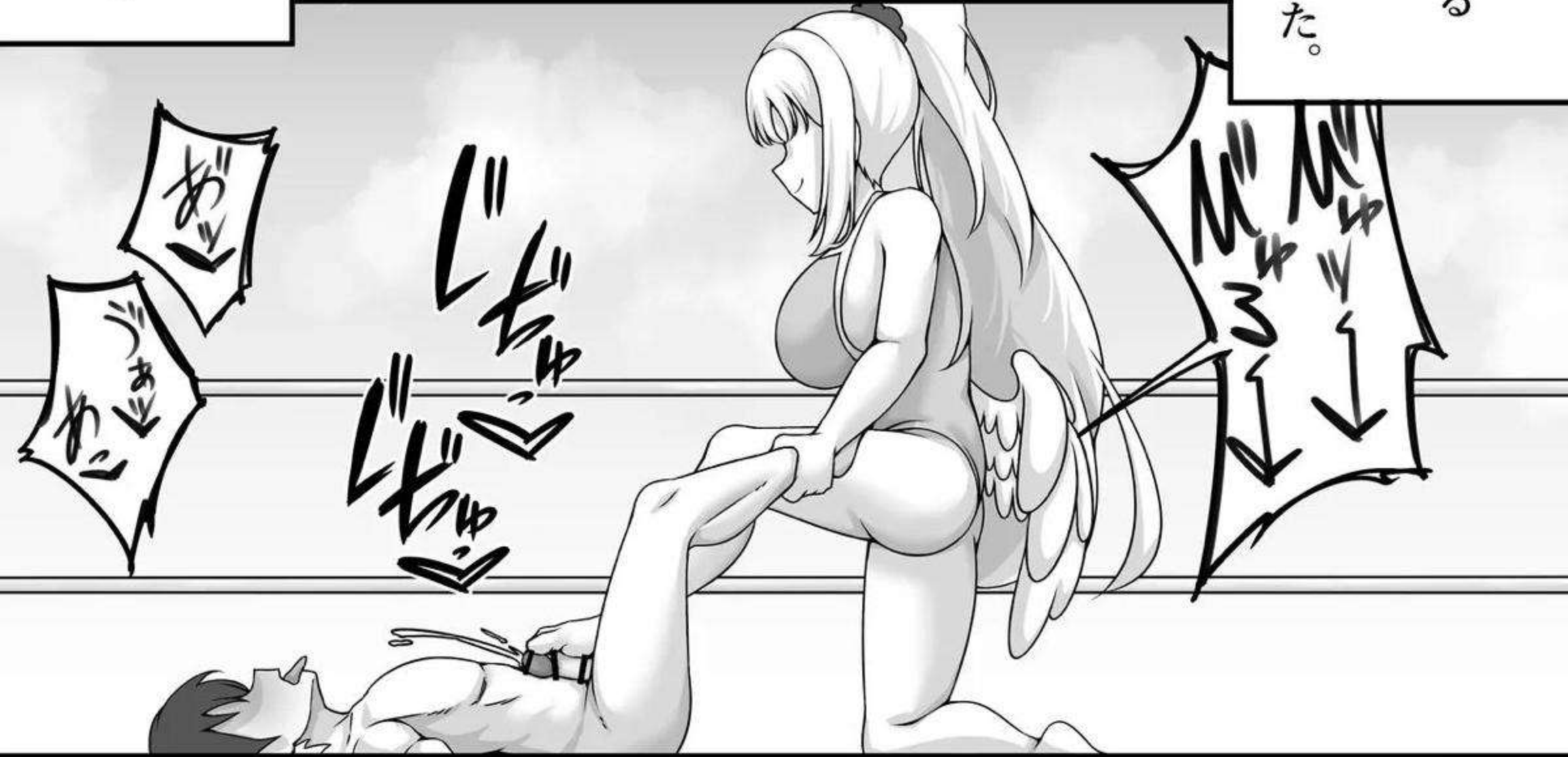




そこから今度はただミカに犯された。
口、手、胸、足、性器、ありとあらゆる
ミカの体全てでペニスを弄ばれ、
ひたすら射精を繰り返す時には
過剰な快楽に潮を吹くこともあった。



完膚なきまでの敗北であった。
反撃の隙など一切ないまま、
ミカのその美しくも淫靡な体で
搾り取られるだけだった。



いえ〜いつ、これで私の勝ち〜☆



あとがき

この作品はティーパーティーにバトルファックで負けたいという相互作家さんたちのツイートにより生まれたものです。さすがに4pものを描く余裕はなかったのでミカ単体になってしまいました。楽しんでいただけたなら何よりです。

starlight

X(旧twitter) : @VVVVIIIIXX

Pixiv : 28521221